

政策 すべてのひとがいきいきと活動する

方向 112 子どもから高齢者まですべての市民がいきいきとくらするまち、とくに高齢者や障害のあるひとが、住み慣れた地域社会のなかで、積極的に社会参加ができる場所や機会に恵まれ、多くのひとたちとふれあいながら社会の一員としての生きがいをもって活躍できるまちの実現をめざす。

評価 **C** 客観指標評価は良好で、特に老人福祉センターの利用者数は良い評価である。市民満足度評価は施策によって評価にばらつきがあり、住環境については良好な評価であるが、雇用関係の評価が低くなっている。このように、客観指標評価が良好である一方で、市民満足度評価との乖離が見られるため、Cという評価をする。

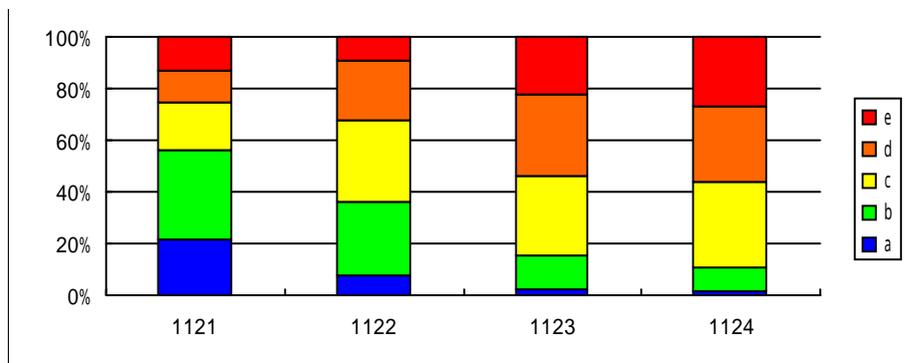
この政策を実現するための施策とその総合評価

施策名	だれもがずっとくらし続けたいすまい・まちづくり	評価:
1121 概要	まちや住宅の安全性・地域性・歴史性等に配慮しながら、市民、事業者等との協働により、良質な住宅、住環境を整備し、多様な世代が共生するまちを実現する。	B
施策名	高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる機会の提供	評価:
1122 概要	福祉施設やスポーツ施設を整備し、ボランティア活動を支援するとともに、スポーツ活動の普及・ITなどの活用により、高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる社会を実現する。	B
施策名	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保	評価:
1123 概要	高齢者や障害のあるひとの能力向上を図り、就業の場の確保に努める。	C
施策名	だれもがいきいきと働けるまちづくり	評価:
1124 概要	勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ、勤労者の福祉の向上を図り、だれもがいきいきと働けるよう支援を行う。	D

主な客観指標の現在値と評価(アウトカム指標での評価)

1122 (準)老人福祉センターの利用者数(人)	432681	A'
1123 (準)障害者雇用率(精神障害者を除く。)達成企業の割合(%)	46.9	B'
1123 シルバー人材センターの就業率(%)	62.8	B

市民満足度評価



- 1121 今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。 B
- 1122 高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が増えていると思う。 C
- 1123 高齢者や障害のあるひとの働く場が増えてきていると思う。 D
- 1124 労働についての情報が提供され、いきいきと働ける場を得ていると思う。 D